



PUBLIC
RELATIONS OF
KIMOBETSU

2024
R6
Vol.876

06
JUNE

特集 喜茂別で働く
外国人技能実習生 Vol.1
～共に暮らし、共に成長するまちづくり～



介護の第一線で活躍する外国人技能実習生

「きもべつ喜らめきの郷」では、現在6名の外国人技能実習生が技能習得を目指し日々励んでいます。今回は彼女たちがどのような思いで日々実習に取り組んでいるかをご紹介します。

町イメージ
キャラクター
ウサバラくん



喜茂別で働く外国人技能実習生

Vol.1

〜共に暮らし、共に成長するまちづくり〜

近年、全国で外国人技能実習生の受け入れ人数は年々増加し、様々な分野で外国人技能実習生の活躍が期待されています。喜茂別町においても、4月末現在70人の外国人登録があり、そのうち12名が技能実習生として技能習得を目指しています。2カ月にわたって特集を組み、今月は「きもべつ喜らめきの郷」7月号では「クレードル興農」をご紹介します。

外国人技能実習生制度って何？

外国人技能実習生制度とは、開発途上国の若者が、日本の技術や技能を習得するために来日し、一定期間企業等で働く制度です。彼らは、母国に貢献したいという思いから、日本の文化や習慣を学び、将来の夢に向かって歩んでいます。

技能実習生の受け入れは、単に人手不足を補うためだけでなく、職場全体に活力を与えています。彼らは、新しい視点や文化を持ち込み、地域経済の活性化や国際交流の推進に貢献するとともに、住民との交流により、相互理解を深め、共生社会の実現を目指して頑張っています。



メイトゥ アウンさん
(トゥさん)



ノエイ セイクーさん
(ノさん)



エイ ケーイテイさん
(エイさん)



ヤミン テツさん
(ヤミンさん)



ニンワー ルインさん
(ニンさん)



テツ ウエイ アウンさん
(ウェイさん)

実習生インタビュー

今回は「きもべつ喜らめきの郷」で働くミャンマー出身の6人の技能実習生のお話を伺いました。

Q1 日本に来ようと思ったキッカケはなんですか？

ウェイさん 日本で介護の技術を学び、母国で伝えていきたいと思ったからです。

ヤミンさん 私も日本の高い介護技術を学びたいと思ってきました。日本の介護は設備も整っています。

ニンさん 私はミャンマーにいる家族を支えるために日本に来ました。家族のためにもお仕事を頑張っています。

Q2 喜茂別の暮らしで驚いたことは何ですか？

全員 雪です！ミャンマーでは雪が降らないので、とても驚きました！

Q3 仕事をする上で頑張っていること・大変なことは何ですか？

トゥさん 入浴介助が大変です。ただ、利用者さんに喜んでいただけるように頑張っています。

エイさん 利用者さんが笑ってくれるように頑張っています。イベントではダンスもしました！

ノさん どうしたら、楽しくしてくれるのかなと考えながら、「コミュニケーションを取るように頑張っています」。

Q4 日本の好きな言葉・食べ物などを教えてください。

エイさん 私は日本の果物が好きで、特にさくらんぼがとても甘くて好きです。

ニンさん 私はぎょうざが好きでミャンマーにいたころからよく食べていました。日本のぎょうざは、お肉がたくさん入っていておいしいです。

ウェイさん 日本語の中で好きな言葉は、「思いやり」です。

ヤミンさん 私は「優しい」という言葉が好きです。お仕事の時も優しさを持って仕事するように心掛けています。

受け入れ先インタビュー

きもべつ喜らめきの郷

施設長

木下 雄一さん
きのした ゆういち

『人材不足は二丁目一番地の課題』

介護業界で最重要課題となっているのは、「人材不足」です。これは、都市・地方に関係なく問題となっています。当施設では、4年ほど前から、外国人技能実習生の受け入れをはじめ、現在6人の方が働いています。彼女たちは、とてもまじめで一生懸命仕事に取り組んでくれています。1年ほどで日本語も上手になり、一人で夜勤もこなせるくらい頑張ってくれています。真心を持って仕事をしている彼女たちの姿を見ると、感動しますし逆に大切なことを教えてもらっているような気がします。採用から3カ月間ほどは、月に数回講師の方をお招きして日本語教室を開催しております。また、昨年は着物体験など日本になじめるような取り組みも当施設では行っています。現状の課題は、日常生活支援です。特に、通院や買い物など日常生活の面でも生活しやすい、相談し



やすい環境づくりを行っていききたいと思います。今後も定期的な採用を行い、長く働ける環境を作っていききたいと思います。

介護課長

島 廣樹さん
しま ひろき

『とてもまじめで一生懸命』

当施設では、4年ほど前から外国人技能実習生の受け入れを始めました。道内でみても早い方だったと



思います。

技能実習生採用の流れは、管理団体を通して面接等を行い採用が決定します。現在当施設のスタッフのうち、約3分の1が外国人技能実習生です。彼女たちは、とてもまじめで一生懸命働いてくれます。目標を持っていてるので、私たちも勉強になりますし、刺激を受けます。気候も文化も違うところで環境に慣れるのは大変だと思えますが、彼女たちの姿を見ると本当に感心します。今後はリーダーのような人材を育成し、働きやすい、住みやすい環境を作るような取組みをしていきたいと思っています。

普段の様子



インタビューの様子



おわりに

今回の取材で、現在のミャンマーでの介護の現状は、家族内で高齢者のお世話をするなどまだまだ整っていないことがわかりました。その点について、彼女たちは問題意識を持ち、日々懸命に学び、働いています。そんな彼女たちの夢を応援していきましょう。



ミャンマー「水かけ祭」の紹介